

血液内科の紹介

血液内科 部長 又野 禎也

Matano Sadaya

代表的な疾患と最近の動向

市立砺波総合病院の血液内科は、常勤医2名、非常勤医1名の合計3名体制で、砺波医療圏で唯一の日本血液学会研修認定施設として、様々な造血器疾患の診療を行っています。以下、代表的な疾患と、当院での診療について触れたいと思います。

①**悪性リンパ腫**：当科の入院で最も多い疾患です。病理検査で悪性リンパ腫と診断されてから当科での診療が始まります。まずはリンパ腫としての精密検査を実施します。病理診断や精密検査の結果が判明した時点で、無治療経過観察や抗腫瘍剤治療、造血幹細胞移植併用大量化学療法、分子標的治療、放射線治療、緩和治療といった治療について患者さんと相談します。分子標的治療薬の開発は特に目覚ましく、一部の疾患では長期間病勢をコントロールできる内服薬も出てきました。治療が効を奏して寛解が得られた後は、再発がないか定期的な検査を実施しますが、病状が安定した寛解事例については、ご紹介元の医療機関に逆紹介をさせて頂いています。

②**多発性骨髄腫**：次に多い疾患が多発性骨髄腫です。この疾患は、悪性リンパ腫以上に新規薬剤の開発が目覚ましく、新たな薬剤や投与方法が次々と導入されています。治療成績は向上していますが、薬剤ごとに特徴があるので、できるだけ患者さんの負担にならないよう相談しながら治療を行っています。治療目標も「病勢悪化を抑える」から「奏効を得る」、さらに「深い奏効を得る」を経て、今では「深い奏効を得た後、いかにその効果を維持

するか」に変化しています。将来的には「治療は終了して経過観察」が可能な時代がくると考えられます。

③**急性白血病**：血液内科が扱う代表的な疾患です。以前は抗がん剤治療しか選択肢がありませんでしたが、最近では分子標的治療薬が開発され、臨床に應用されています。

一般診療に導入されてまだ日が浅い為、長期的な効果は今後明らかになるものと考えています。また、支持療法の進歩により造血幹細胞移植療法も適応年齢が拡大してきています。この適応がある方は、移植可能な施設へ紹介させて頂いています。

④**その他**：白血球数異常、赤血球数異常、血小板数異常でご紹介を頂く場合があります。当科で精密検査を実施して、原因不明の場合や慢性的な経過をとっている場合、程度が軽い場合は、経過観察で推移を診ていきます。こうした事例はご紹介元の医療機関に逆紹介をさせて頂いています。血球数の経過観察で、程度の悪化や複数系統の異常など新たな所見が出現した時には、再度ご紹介頂ければと存じます。医療機関の皆さまからのご紹介事例をはじめ、緊急や重症の造血器疾患患者さんに速やかに対応できる体制を維持するため、今後ともご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



外来担当一覧

	月	火	水	木	金
午前	杉森	又野	畑田	又野	—
午後	—	又野 (予約のみ)	—	—	—

眼科の紹介



眼科
部長 大田 妙子

Ota Taeko

最近の低侵襲緑内障手術 ～水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術～ について

○緑内障とは

何らかの原因で眼圧が高くなり視神経が冒されて萎縮し、視野が損なわれ視力が低下する病気です。大きく分けて閉塞隅角緑内障と開放隅角緑内障に分かれます。

閉塞隅角緑内障:何かのきっかけで房水の流れが虹彩根部でせき止められることによって起こり、急性緑内障発作もこれに含まれます。水晶体の厚みをなくすことにより隅角が広がるため治療の基本は水晶体再建術（白内障手術）となります。

開放隅角緑内障:房水の排出機能を司る部位である線維柱帯の障害によっておこり、40歳以上の約20人に1人が罹患し、日本人に多い正常眼圧緑内障もこの分類に含まれます。治療の基本は眼圧を下げる点眼剤で、作用機序の異なる点眼を3～4種類点眼している患者さんも多くいらっしゃいます。副作用として白目が充血する、まつげが長くなる、眼のふちが黒ずむなどが高頻度に起こります。これまでは多剤を点眼しても進行が止まらない場合にかぎり線維柱帯開放術や線維柱帯切除術などの比較的侵襲の大きな緑内障手術を行ってきました。

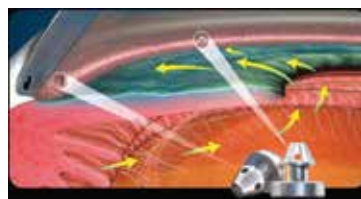
外来担当一覧

	月	火	水	木	金
午前	中尾	大田・中尾	大田・中尾	大田・中尾	大田・中尾
午後	—	予約のみ	—	予約のみ	予約のみ

○低侵襲緑内障手術

(MIGS:Micro Invasive Glaucoma Surgery)

近年、小切開で内側から手術を行うMIGSといわれる緑内障手術が行われるようになりました。そのなかでも、アイステントという房水の流れを良くする特殊な器具を用いた“水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術”はもっとも侵襲の少ない緑内障手術です。当院ではiStent inject®Wというアイステントでも最新型のものを使用しています。これは医療用チタンでできた長さ360μmのインプラントで、人体に挿入する既存の医療機器の中では最小です。これを線維柱帯に2個挿入することで房水の流出を促進し眼圧を下降させます。手術時間は白内障手術に加えて10分程度です。ただし、現在のところ白内障手術の際に同時に施行することしか認められていません。言い換えれば白内障もある方にしか施行できず、白内障手術時がワンチャンスということ。また視野欠損が極度に進行した症例にはあまり適しません。術後はほとんどの症例で緑内障点眼剤の数を減らすことができ、約70%が点眼なし、あるいは1剤のみで眼圧コントロールが可能となり、当科でもほぼ同様の結果が得られています。緑内障点眼は開始するとほとんどの方が一生点眼しつづけてはなりませんでしたが、この手術は点眼の経済的負担や副作用に悩む患者さんに福音をもたらす術式として期待されています。



隅角の2カ所に挿入



iStent inject®W



中尾 啓隆

Nakao Hiroataka
4月から勤務の
中尾啓隆です！

連携医療機関のご紹介



医療法人社団 薫風会 太田病院

(内科 消化器科 循環器科 小児科)

おお た りょうすけ
副院長 太田 亮介 先生



地域に密着した温かい医療を目指しています

当院は祖父が昭和23年に開業した小さな病院です。地域の皆様に寄り添い、温かい医療を提供することを目標にこれまで歩んできました。私の専門は消化器内科で、現在当院にて上部内視鏡検査（胃カメラ）、大腸内視鏡検査を実施しております。当院の内視鏡検査はNBI併用拡大内視鏡検査を導入し、咽頭癌・食道癌・胃癌・十二指腸癌・大腸癌の早期発見が可能です。また大腸内視鏡検査では、小さなポリープであれば日帰り治療も可能です。

身体の小さな変化を感じた時に気軽に相談でき、安心して診察を受けられるような患者様の身近な存在でありたい。と思っております。これからも宜しく願いいたします。

小矢部市新富町3-11 TEL 0766-67-0443

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	○	○	○	○*

(※土曜日は9:00~16:00、日曜・祝日は休診)



医療法人社団 佐藤内科クリニック

(内科 腎高血圧内科)

さとう しげひこ
院長 佐藤 重彦 先生

日本内科学会内科認定医
日本腎臓学会腎臓専門医



地域のクリニックです

佐藤内科クリニックは砺波市役所から中神方面に伸びる道路沿いに誕生して12年経過しました。この間常勤のスタッフは誰も変わることがなく患者さんに目線を合わせた、心のこもった対応を続けています。待合はいつも明るいです。

生活習慣病、特に高血圧に力を入れて診療しており、尿検査から塩分カリウムの排泄を算出し、具体的な塩分制限とカリウム摂取方法の指導を行い、家庭血圧を朝晩測定することにより実感のある治療で血管病変の予防に努めてきました。道路が整備され隣にはクスリのアオキができて周りの住宅が増えました。それに伴い熱、腹痛、咳嗽などいろんな訴えの方が来られる

ようになり、それに応えることも大切な診療です。砺波総合病院との連携は診療の絆であり、それを通じて質の高い診断・治療を維持してきました。

令和4年春には新卒の事務スタッフも加入してスタッフ一同さらに質の高い対応に心がけていきたいと思っております。予約を中心に診療しております。受診の際にはホームページよりweb予約か電話で予約して頂けると幸いです。

砺波市杉木3-215 TEL 0763-58-5811

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○*	-	○	○	-

(※火曜日の新患受付は~18時・18時~は再診のみ、日曜・祝日は休診)



鷹西医院

(内科 ペインクリニック)

院長 鷹西 敏雄 先生

日本麻酔科学会専門医
日本ペインクリニック学会
専門医



ペインクリニックを少しでも皆様へ

砺波厚生病院で産声を上げ、当時内科勤務医であった父の開業とともに4歳から旧井波町へ移り半世紀以上、私が後を承け今年で15年となりました。現在は南砺市となり、2つの公的病院もありますが、循環器・脳血管疾患における急性期症例への迅速な対応など大変お世話になっております。

当院ペインクリニック外来では主に、脊椎での椎間板ヘルニアや圧迫骨折など、神経の圧迫で引き起こされる各種神経症状や、椎間・仙腸関節痛、帯状疱疹によって引き起こされる肋間神経痛や三叉神経痛などに対して硬膜外ブロック注射などの各種神経ブロック注射を中心に、薬物療法と

併用して疼痛緩和治療を行っております。また、眼瞼痙攣や片側顔面痙攣に対してはボトックス注射による治療も行っております。しかし、ブロック注射は魔法の針ではありません。物理的に圧迫されている神経障害は対応が早いほど後の経過に影響を及ぼすため、当院では整形外科医への早めのコンサルトを心がけております。今後ともよろしくお願いたします。

南砺市北川108 TEL 0763-82-3231

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:30	○	○	-	○	○	○
午後	14:30~18:00	○	○	-	○	○	-

(水曜・日曜・祝日は休診)

新任医師紹介

①医師経験年数を教えてください ②趣味・特技・マイブーム ③抱負など何でもどうぞ



8月 産婦人科医員 竹内 麻優子

①6 ②美味しいご飯を食べること
③丁寧な診療を心がけます。よろしくお願いたします。



10月 産婦人科医員 布村 晴香

①8 ②読書 ③地域の医療に貢献できるよう、日々務めたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



10月 小児科医員 竹村 舞衣音

①4 ②旅行 ③至らぬ点多々あるとは思いますが、少しでもお役に立てるよう精進して参ります。よろしくお願いたします。



どうぞよろしく
お願いたします。



10月 泌尿器科医員 鈴木 涼太

①6 ②音楽、旅行 ③少しでも地域の皆さまのお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



10月 形成外科医員 林 瑠

①4 ②ギター ③患者さん個人個人に合わせた丁寧な診療・処置を心掛け、砺波での医療に貢献できるように頑張ります。

選定療養費に関するお知らせ

診療報酬改定に伴い、令和4年10月1日より次のとおり変更となりました。

	対象	変更前 (~9/30)	変更後 (10/1~)
初診時	他の医療機関からの紹介状なしで受診される場合	5,500円	7,700円
再診時	病状が安定し、他の医療機関へ紹介申し出後に、患者さんの意思で引き続き当院を受診される場合	2,750円	3,300円

◇紹介状なく受診される場合でも、次に該当する方は選定療養費の対象外となります。

- ・特定の障害や疾病の公費負担医療制度の受給対象者
(こども医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成の受給者は、ご負担いただきます。)
- ・救急受診患者で、緊急性があると判断される場合
- ・直ちに入院が必要な場合
- ・災害や交通事故等により速やかに治療が必要な場合 など

ご紹介時のご意見・ご質問について

日頃より当院との病診連携にご協力を賜りありがとうございます。
連携医療機関の皆さまからご紹介の際にいただいたご意見・ご質問についてご紹介します。改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



Q1

睡眠時無呼吸症候群疑いの患者さんは何科に紹介すればよいか？

A1 内科へご紹介ください。検査により確定診断した後、CPAPを導入される患者さんは、経過観察後に逆紹介させていただく事が多いです。確定診断のみをご希望され、ご紹介元でCPAP導入から行われる場合もあります。

Q2

紹介状と一緒に健康調査票「ご紹介患者さんへ新型コロナウイルス・インフルエンザ健康調査ご協力のお願い」をFAXしているが、引き続き必要か？

A2 院内で検討した結果、当面は現在の院内感染対策の体制を続けることとなりました。患者さんや医療機関の皆さまにはご不便をおかけしておりますが、今後ともご理解ご協力の程お願い申し上げます。

Q3

肝炎の患者さんを紹介した際に、後から検査結果などいろいろと尋ねられた。紹介に必要な項目が事前に判るようにしてほしい。

A3 B型・C型肝炎患者さんの診断や治療方針の決定のために有意な検査データや質問項目を記載した専用様式を作成しました。なお、様式は病院HPにも掲載しております。ご活用いただけると幸いです。

2022 砺波医療圏 地域医療連携セミナー 開催のご案内

地域医療連携セミナーを外部講師の先生をお迎えして開催します。
本日も会場へのご来場とWEBでご自宅や診療所からご視聴いただけるハイブリッドセミナーです。
詳細については改めてご案内します。



日時 令和4年12月6日(火) 19:00~20:10

会場 市立砺波総合病院 南棟2階 第1会議室(配信会場)

特別講演

「大腿骨近位部骨折に対する二次骨折予防」

厚生連高岡病院 人工関節センター長 坂越 大悟 先生



ご視聴にあたっては事前登録が必要です。下記のメールアドレスもしくは
2次元バーコードを読み取って視聴登録をお願いします。
参加希望連絡用メールアドレス asada.keisuke.e7@daiichisankyo.co.jp
※ご施設名、お名前の記載をお願いします。受付締切日12/5(月) 17:30まで

2022 地域医療連携懇話会を開催しました

令和4年7月7日(木) 19:00~20:30 当院3階講堂において地域医療連携懇話会を開催しました。
会場とZoomによるWEB参加を合わせ約70名の方が参加されました。
初めてご参加くださった開業医の先生もおられ、講演後も懇談のひと時となりました。

● 新任医師紹介

● 講演1「緩和ケア科からの情報提供」

演者 緩和ケア科部長 加登大介

多様化するオピオイド製剤
当院の緩和ケア提供体制について紹介

● 講演2「糖尿病検査と治療のUpdate」

演者 糖尿病・内分泌内科主任部長 早川哲雄

糖尿病検査と治療の現状について紹介



編集後記

〇〇の秋とは？とのお題にみなさんが思い浮かぶものは何ですか？食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋・・・たくさんあり一つには絞れないですが、私が思い浮かんだものは「いつもの秋」です。毎年自宅や近所では稲刈りが行われ、新米で炊いた栗ご飯やサンマを食べる。見渡せばコスモスが咲き、キンモクセイの香りが漂ってくる。学校行事では、学習発表会や修学旅行。価格改定での値上げやいろいろな行事が縮小ではあるが再開している中、アフターコロナ期にあっても身近にある「いつもの秋」がみなさんの傍に訪れているといいなと思っております。(T.M)

「おあしす連携だより」に関するお問い合わせは、患者総合支援センターまでご連絡ください。

TEL 0763-32-8361 **FAX** 0763-33-1591 **メール** tgh-renkei@med.tonami.toyama.jp